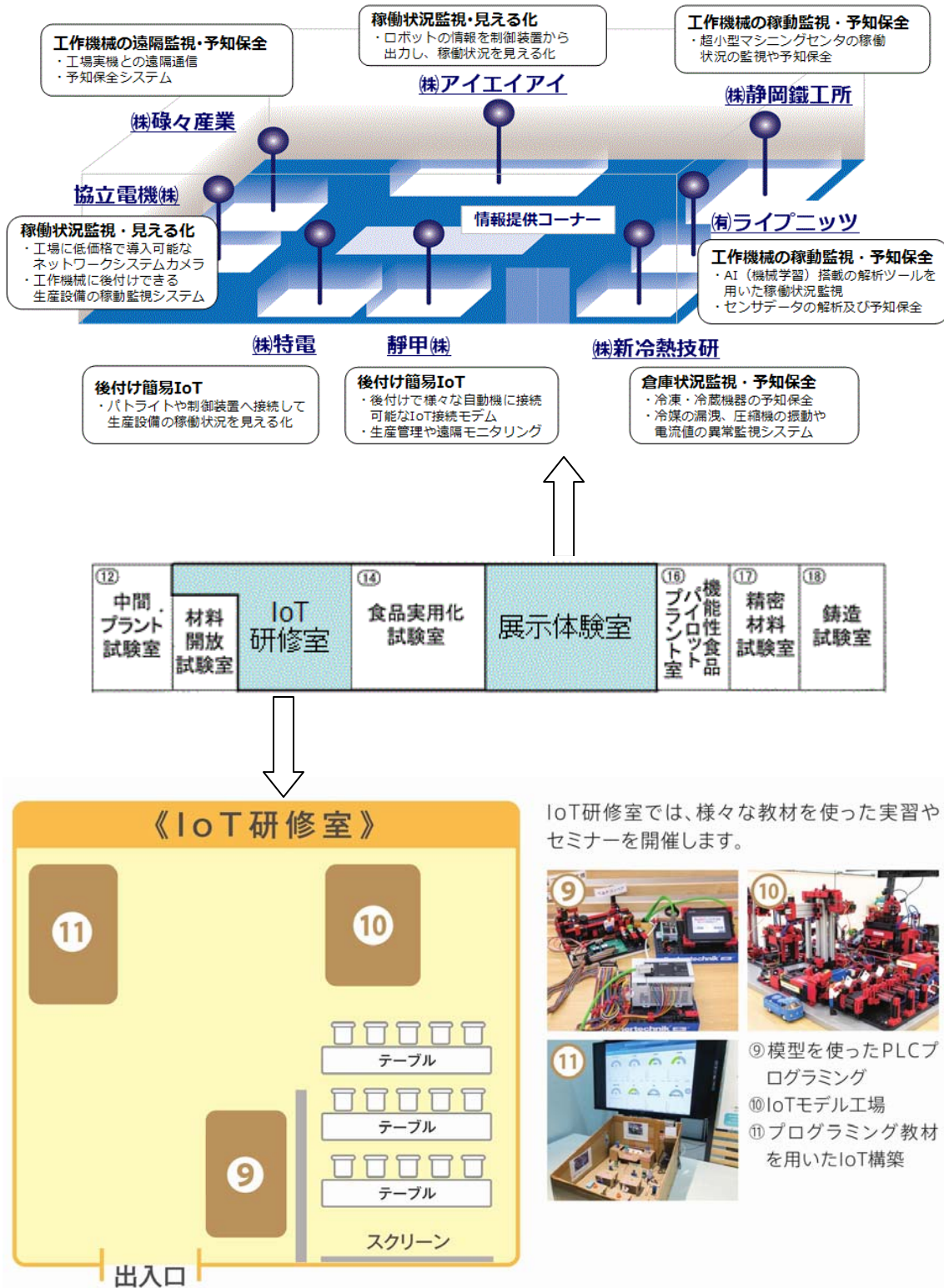


静岡県試験研究 10 大トピックス（工業技術研究所）

<p>タイトル</p>	<p>静岡県 IoT 推進ラボの開設とポータブル IoT 導入パックの開発</p>	<p>研究課題名 期間</p>	<p>IoT 等技術導入促進事業 IoT 導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築 (令和元年度～令和 3 年度)</p>
<p>所 属</p>	<p>工業技術研究所 機械電子科</p>	<p>補職名 研究者名</p>	<p>科長 赤堀 篤</p>
		<p>問合せ先</p>	<p>054-278-3027</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">研究概要</p>	<p>【背景・ねらい】 IoT (Internet of Things) とは、あらゆるものがインターネットに接続されることを意味し、製造分野では、生産設備や製造工程の「見える化」や生産工程の省力化に役立つと期待されている。しかしながら、県内中小企業の多くは、IoT の導入に関心を寄せているものの、費用対効果が見えない、自社のどこに導入すれば良いかわからない、対応できる人材がいななど課題を抱えているのが現状である。</p> <p>【成果の内容・特徴】 最新の工作機械や IoT 接続機器に「見て」「触れて」「試せる」場を提供し、IoT 技術を身近に感じていただき、さらに、実習やセミナーを通じて中小企業への IoT 導入を推進するため、令和元年 11 月 29 日に「静岡県 IoT 推進ラボ」を開設した。 「静岡県 IoT 推進ラボ」は、最新技術を展示・体験する「展示体験室」と、セミナーや実習等を行う「IoT 研修室」の 2 室で構成されている。「展示体験室」では、企業の協力を得ながら常に最新技術の展示を行っている。そのため展示内容は、公募による企業提案のものとし、毎年内容を変更する(次回更新は令和 2 年 11 月)。令和元年度は 8 社を選定した。機械の稼働状況の「見える化」や遠隔監視システム、後付 IoT 接続機器、予知保全システムなどを展示しており、研究所の研究員が内容の説明を行っている。「IoT 研修室」は、10～20 人の規模で、主にワークショップ形式の実習を行う。簡単な IoT 教材を用いた初心者向け実習や、現場の生産設備への接続を想定した中級者向け実習、AI を取り入れたビッグデータ解析など、企業の習熟度に応じて様々な実習を計画している。また、製造現場への簡易的な IoT 導入を実証するポータブル IoT 導入パックを開発した。</p> <p>【成果の活用・留意点】 令和元年11月29日の開所以降、令和 2 年 2 月末までの約 3 ヶ月間に、企業・各種団体等の約 250 人の見学者が訪れたほか、3 回の実習では、25 社 35 人の企業技術者が参加した。 なお、展示体験室は研究所の開所時間に合わせ、平日午前 9 時から午後 5 時まで見学ができる。また、実習やセミナーは、出展企業や静岡県 IoT 研究会と協力して開催し、工業技術研究所ホームページで案内していく。また、ポータブル IoT 導入パックについては、実際の製造現場への設置・指導を予定している。</p>		

* 図、写真などについては次頁に添付をお願いします。



静岡県 IoT 推進ラボの概要